

国語科学習指導案

指導者 海田町立海田西小学校

- 1 日 時 平成30年6月27日(水)
- 2 学 年 第2学年1組(男子15名 女子14名 計29名)
- 3 単元名 二つのせつめいをくらべよう ～道ぐのせつめい書を作ろう～
教材文「ふろしきは、どんな めの」(「新しい国語 二上」 東京書籍)

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語の第1・2学年「C 読むこと」(1)「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」に基づいて設定した。

本教材は、日本古来の道具である「ふろしき」の説明について、デパートで見つけたカードと、本に載っていた文章を比べて読むものである。二つを比べると、説明をしている事柄の順序は同じである。「ふろしき」の最も大事な機能が一番先に述べられ、二番目、三番目の段落では、ふろしきの便利な点が説明されている。相違点としては、カードには、三項目の箇条書きで「ふろしき」の良さが端的に示してあるのに対して、本に載っていた文章は、「はじめ」「中」「おわり」で構成され、「また」「さらに」等のつなぎ言葉を使って、理由なども詳しく説明されているところである。

この二つの説明を読み比べることにより、説明の仕方の相違点や共通点、及び、それぞれの良さに気付くことができる教材である。また、二つの文章がそれぞれ使われている場面が想起しやすくなっており、同じものの説明でも、状況や場面によって説明の仕方が違ってくることに気付かせることができる教材である。

(2) 児童観

本学級では、4月に行われた標準学力調査(NRT)の結果、「時間や事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことができる」児童の割合が24.1pt(全国39.6pt)であり、この領域における力の定着は不十分であることが分かった。

児童は、前単元の教材文「たんぼぼ」で、説明の順序を考えて文章を読み、書いてあることを正しくとらえる学習を行った。また、「ことばで絵をつたえよう」では、「ことがらごとに話す」「何について話すかをいってから」「順序を表すつなぎ言葉を使いながら」等、順序を意識して絵を言葉で説明する学習を行った。これらの学習を通して、児童は、順序を考えながら読んだり、表現したりすることの良さに気付くことができた。そして、日記や作文を書く時に、順序を考え、つなぎ言葉を的確に使うことを意識する児童も増えてきた。

しかし、授業や日常生活の場面で、自分の考えや体験等を羅列的に書いたり話したりする等、事柄や時間の順序、続き方を考えながら表現することに課題のある児童は多い。本教材を学習することで、説明の順序や、大事なことは何かを考えながら読む力を付け、書く力へとつなげていきたい。

(3) 指導観

筆箱や下敷き等、日ごろ使っている道具の中から一つ選んで「道具の説明書を作ろう」とい

う学習課題を設定する。

教材文を使って学習する際には、板書を構造的に行い、「べんりなふろしき」と「まほうのぬの『ふろしき』」の文章を比較したり、つなぎ言葉に着目させたりしながら、特に相違点や、それぞれの説明の仕方の良さに気付くことができるようにする。

また、大事なことに線を引いたり書き抜いたりすることにより、「まほうのぬの『ふろしき』」に書かれている大事なことが、「べんりなふろしき」では箇条書きにされていることや、説明の順序が工夫されていることに気付かせるとともに、同じものでも場面や用途に応じて説明の仕方が違うことを考えさせたい。

副教材文「まほうのかばんランドセル」の学習では、ランドセルの機能について述べた一文を抜いたものを児童に提示し、その一文を文章のどの部分に挿入すべきなのか、「まほうのぬの『ふろしき』」の説明の順序を根拠として考えさせたい。自分の意見に理由を添えて述べることを意識しながら話し合いをさせ、学びを深めていきたいと考える。

このような学習活動を通して、文章の内容を正しく読み取るためには、事柄の順序を考えることが大切であることに気付かせる。

5 単元の目標

- 相違点や共通点に興味をもって、二つの文章を読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- 二つの文章の説明の仕方の違いや説明の順序を考えながら、文章の内容の大体を読み取ることができる。 【読むこと イ】
- 二つの説明の大事なところに線を引いたり書き抜いたりすることができる。 【読むこと エ】
- 主語と述語、つなぎ言葉に注意して文章を読み取ることができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
○ 説明の相違点や共通点に興味をもって二つの文章を比べて読み、それぞれの良さについて考えようとしている。	○ 二つの文章の説明の仕方の相違点や共通点、説明の順序を考えながら、文章の内容の大体を読み取っている。 ○ 二つの文章の大事なところに線を引いたり書き抜いたりすることができる。	○ 主語と述語、つなぎ言葉に注意して文章を読み取っている。

7 本単元において育成したい資質・能力

育成したい資質・能力は、①主体性 ②課題発見・解決力 ③チャレンジ精神の3つである。本単元で重点的に指導したい資質・能力は次のとおりである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	道具の説明の仕方に興味をもち、道具の説明書の作成のために、事柄の順序やつなぎ言葉等の既習事項を生かして、進んで表現しようとしている。
課題発見・解決力	実生活の中から課題を発見するとともに、発見した課題に対して、順序やつなぎ言葉等の既習事項を用いたり、友達の考えを参考にしたりして解決しようとしている。
チャレンジ精神	自分の使っている道具についてよりよく説明するために、自他の考え方の良さをみとめ、友達の考えも積極的に取り入れようとしている。

8 単元の学習指導計画（全9時間）

	学習活動	関	読	言	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	課題の設定 ○ 自分の使っている道具についての説明書を作るという学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。	◎			<ul style="list-style-type: none"> 道具の説明書を作るために、どのような学習が必要か考え、興味をもって教材文を読もうとしている。(ノート, 発言) ★ 実生活の中から課題を発見し、解決のための見通しをもとうとしている。
2	情報収集 ○ 「べんりなふろしき」と「まほうのぬの『ふろしき』」を比べ、相違点や共通点を見つけ、相違点についてくわしく考える。		◎		<ul style="list-style-type: none"> 二つの文章の相違点や共通点をつかみ、文章の内容を読み取ることができる。(ノート, 発言) ★ 友達と意見を交流して、課題を解決しようとしている。
3	情報収集 ○ 「べんりなふろしき」と「まほうのぬの『ふろしき』」の順序や説明の仕方の良さを考え、話し合う。		◎		<ul style="list-style-type: none"> 二つの文章を読み比べ、理由も添えながら、それぞれの文章の良さについて、自分の考えを説明することができる。(発言, ノート)
4 本 時	整理分析 ○ ふろしきの説明の順序の良さについての学習を生かして、「まほうのかばんランドセル」の説明の順序について考える。		◎		<ul style="list-style-type: none"> 説明の順序の良さに気付くとともに、順序を考えながら読み、内容の大体を読み取ることができる。(発言・ワークシート) ★ 友達と意見を交流して、課題を解決しようとしている。(行動観察)

5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">整理分析</div> ○ 「まほうのかばんランドセル」から、大事なことを書き抜き、カードを作成する。	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 「まほうのかばん ランドセル」の文章の中の、大事な言葉や文章に線をひいたり、書き抜いたりしている。(ワークシート, 発言)
6 7 8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・創造・表現</div> ○ 自分が使っている道具について、説明書作りをし、互いに交流する。		◎	<ul style="list-style-type: none"> 主語と述語、つなぎ言葉に注意して文章を読み取り、カードを書いている。 ★ 学習したことを用いたり、友達の考えを参考にしたりして課題を解決しようとしている。(発言, ワークシート)
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・創造・表現</div> ○ 二つの文章を読み比べて、相違点や共通点、説明の順序の良さを考えることができたかを振り返る。	◎		<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを基に、二つの文章の違いやそれぞれの良さについての自分の考えを分かりやすくまとめている。(ノート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>★「深い学び」を実現した児童の具体</p> <p>○ せつめいのしかたはちがっていても、せつめいのじゅんじょはおなじでした。一ばん大じなことからせつめいしたら、わかりやすくなることがわかりました。</p> </div>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- 「まほうのかばんランドセル」も、「まほうのぬの『ふろしき』」と同様の順序で説明されていることを知り、「まほうのかばんランドセル」の内容の大体を読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

- 説明の順序を考えながら読み、文章の内容の大体を読み取ることができる。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	<p>1 カードに書かれていた文章「べんりなふろしき」と本にのっていた文章『まほうのぬの「ふろしき」』を、つなぎ言葉を意識しながら音読する。</p> <p>「つなぎ言葉の部分を特に大きな声で読みましょう。」</p>	<p>◇ つなぎ言葉を意識させるために、つなぎ言葉だけ、特に声量をあげて音読させる。</p> <p>◇ 内容を確認する意図で、形態をかえて、一文読みや微音読など、形態を変えて数回音読させる。</p>	

展開	<p>2 一文を抜いた「まほうのかばんランドセル」を全員で音読する。</p>	<p>◇ ランドセルの機能について述べた一文を抜いて提示し、説明が足りないことに気付かせる。</p> <p>◇ 文章の「はじめ」「中」「おわり」を確認する。</p>	
	<p>3 本時のめあてを確認する。</p>	<p>◇ 抜いた一文を提示する。 『そのほかに、ふでばこやじょうぎなども入れることができます。』</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ぬかれた文が、ぴったり入るところをさがそう。</div>			
<p>4 抜いてある一文が、文章のどの部分に入るか考える</p> <p>「抜かれた一文は、どこに入りますか。」</p> <p>(個人) → (グループ) → (全体)</p>	<p>◇ ランドセルの全体及び、部分の写真や、ランドセルの実物を準備しておく。</p> <p>◆ 写真と文章を対応させ、説明の順序通りに写真を並べさせる。</p> <p>◆ 写真を見せ、抜かれた一文が写真のどれに当たるのか考えさせる。</p> <p>◇ 一文を挿入する部分だけでなく、なぜその部分なのか、理由も考えさせる。</p> <p>◇ 「まほうのぬの『ふろしき』」の順序やつなぎ言葉など、既習事項を掲示しておく。</p>	<p>○ 説明の順序を考えながら読み、文の挿入部分を考えることで、内容の大体を読み取ることができる。</p> <p style="text-align: right;">(発言、ノート)</p> <p>★ 友達と意見を交流して、課題を解決しようとしている。 (行動観察)</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">協働の場面での児童の言葉</div>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「入れる」と書いてあるから、「中」のかばんはじめのだんらくに入るとおもうし、「中」のだんらくのかばんさいごが「～からです。」となっているから、その前に入るとおもいます。 ・ ふろしきの時のせつめいのじゅんじょとおなじように、さいしょにランドセルのかばんだいなはたらきについて書くとわかりやすくなるとおもいます。 			

まとめ	5 本時の学習で分かったことや考えたことをまとめる。	◇ 児童の言葉でまとめをする。
	ぴったり入るのは、「教科書やノートを入れてはこぶことができます。」のあとです。	
	6 本時の学習の振り返りをする。 「今日の学習で分かったことや考えたことを振り返りに書きましょう。」	◇ 本時の学習で、気付いたことや考えたことを、自分の言葉で書かせる。
	ぬいてある一文は、にたようなことばをさがして、ぴったりのところに入れることができました。そこに入れたら、ランドセルのせつめいがもっとわかりやすくなりました。	

(4) 板書計画

ふりかえり	まとめ ぴったり入るのは……	<p>※一文ぬいておく</p> <p>「まほうのかばん ランドセル」 の文章</p>	めあて まほうのかばん ランドセル
		<p>りゆう</p> <p>・「入れる」とおなじことばのところだから ・ランドセルには何でも入るから</p>	ぬかれた文が、ぴったり入るところをさがそう。